



皆さまの健康を願って

新明保育園の奉納太鼓

きくち

題字/隈府小学校 5年 有働朋加 さん

議会だより

9月定例会 Contents

- 第3回定例会審議結果 2
- 委員会報告 3~7
- 13人が市政を問う! 8~15

- トピックス**
- 実りの秋 特集 16

この定例会では、令和3年度菊池市一般会計補正予算、令和2年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定、条例の制定など20議案が提案されたほか、請願1件、意見書案2件、議員提出議案2件、懲罰動議1件を慎重に審議しました。また、報告が7件ありました。

審議の結果、決議案第3号、議員提出議案第4号、懲罰動議第1号を除き、原案のとおり可決・認定・採択しました。決議案第3号、議員提出議案第4号、懲罰動議第1号は否決となりました。

開催日：8月25日（水）～9月24日（金）

主なものは以下のとおりです。

令和3年第3回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

第3回定例会	議案番号	議案名	結果
	議案第79号	令和2年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定について (P5～7に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています)	原案認定
	議案第80号	令和2年度菊池市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
	議案第81号	令和2年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
	議案第82号	令和2年度菊池市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
	議案第85号	令和2年度菊池市下水道事業会計決算の認定について	原案認定
	意見書案第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 (P3に一部を掲載しています)	原案可決
	決議案第3号	菊池市議会田中教之議員に対する辞職勧告決議	原案否決
	議員提出議案第4号	菊池市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について (菊池市議会議員の定数を現行の20人を16人に改めるもの)	原案否決
	懲罰動議第1号	山瀬義也議員に対する懲罰動議	原案否決

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 除は除斥 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

第3回定例会	議案	議席番号	議員名																						
			結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
						田中教之	福島英徳	緒方哲郎	後藤英夫	平直樹	東奈津子	坂本道博	水上隆光	猿渡美智子	松岡譲	荒木崇之	柁原賢一	工藤圭一郎	城賀典臣	大賀慶一	水上彰澄	二ノ文伸元	泉栄二朗	木下雄二	山瀬義也
議案第79号	可決	18対1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第80号	可決	18対1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第81号	可決	18対1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第82号	可決	18対1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第85号	可決	16対3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書案第2号	可決	17対2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
決議案第3号	否決	4対14	除	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案第4号	否決	4対15	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
懲罰動議第1号	否決	4対14	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

委員会報告

国に意見書を提出

可決

少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書

提案理由 子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、条件整備が不可欠である。

よって、関係行政庁に対し、さらなる少人数学級の実現や加配の増員、少数職種の配置増など教職員定数改善を図ることを求め、意見書を提出する。



主な内容

- ① 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
- ② 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
- ③ 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。

可決

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

(紙面の都合により、抜粋して掲載します。)

提案理由 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、本市経済は大変厳しい状況にあり、終息が見えない中、来年度も税収等の激減は避けられず、相次ぐ自然災害への対応をはじめ、社会保障費関係経費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が求められる。

よって、国においては、コロナ禍等による地方財政の急激な悪化に対して、確実な地方財政対策を講ずるよう強く要望する。

主な内容

令和4年度以降3年間の地方一般財源総額は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」では、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大しており、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがないよう、十分な総額を確保することなど、他4項目。

総務文教常任委員会

委員長／平直樹 副委員長／緒方哲郎
委員／福島英徳 猿渡美智子 柘原賢一

水上彰澄 木下雄二

可決

財産の譲渡について

内容 跡地活用として、企業誘致を進めていた旧旭志幼稚園について、譲渡の相手方、金額の決定に伴い、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの。

質問 地元説明会では、住民からどのような意見があったのか。反対する声は無かったのか。

答弁 住民からは、工場排水に関する質問があり、企業からは、工場自体がクリーンルームであり、使用する水は純水で、汚染された水は出ないとの説明があった。

また、住民から、旭志幼稚園が閉園の際に建てた石碑はどうなるのかとの質問があり、企画振興課と当時の保護者が協議している。譲渡に反対する意見はなかった。



総務文教常任委員会の現地調査

意見 雇用の場所として期待する面もあるので、地元からの採用をお願いしてほしい。

福祉厚生常任委員会

委員長／坂本道博 副委員長／田中教之
委員／東奈津子 水上隆光 荒木崇之
城典臣

可決 菊池市太陽光発電設備の 適正な設置及び維持管理等に 関する条例の制定について

内容 太陽光発電設備の設置が、防災、自然環境、生活環境、及び景観に及ぼす影響に鑑み、太陽光発電設備の設置及び維持管理等に関し、その適正な実施のための必要な事項を定めるにあたり、条例を制定するもの。



質問 パブリックコメントに、環境審議会に弁護士を入れて欲しいとの意見があった。許認可となると、業者との訴訟リスクもある。弁護士を入れると、どんな審査になるのか。

答弁 実際、勧告や公表など、審議会を開催し、意見を聞く場を設ける。実際の判断は、行政側がすることになる。その中に法的な問題があれば、その都度顧問弁護士に確認しながら、進めていくように考えている。

経済建設常任委員会

委員長／後藤英夫 副委員長／泉田栄一朗
委員／松岡讓 工藤圭一郎 二ノ文伸元
山瀬義也

可決 字の区域の変更について

内容 県営花房中部2期地区畑地帯総合整備事業により、圃場の区画整理と畑かん工事を実施している区域について、登記する前には字の境界を変更することが必要であり、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの。

質問 特にありませんでした。

予算決算常任委員会 (分科会を含む主な審議内容)

委員長／松岡讓
副委員長／城典臣
分科会長／
(総務文教) 平直樹
(福祉厚生) 坂本道博
(経済建設) 後藤英夫
委員／議長を除く14名



可決 令和3年度一般 会計補正予算(第7号)

職員人件費

△3378万8千円

内容 本年度の人事異動に伴う給与費等の調整を行っており、常勤職員では給料が2891万円の減額、職員手当等が232万2千円の増額、共済費が720万円の減額、合計で3378万8千円を減額するもの。

質問 通勤手当が163万9千円の増額となっているが、要因は何か。

答弁 市外からの通勤者の増加等が要因となっている。

新型コロナウイルス感染症対策事業 1052万5千円

内容 保育所等にマスクや消毒液等の衛生用品や感染防止用の備品購入に対する支援を行うとともに、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費を支援するもの。

議員質問録

子育て支援の主要事業等において、マスクや消毒液をはじめ衛生用品等の購入のため、国が1/2、市



町村が1/2負担する事業があるが、なるべく市の持ち出しが少なくて済むよう、積極的に情報収集し、補助金を精査すること。
 保育所以外にも、高齢者施設、障害者施設等の情報も収集し、補助事業があれば周知すること。

農業用施設整備事業 3249万4千円

内容 赤星地区の宝永隧道内水対策事業として、繰越事業の承認を受けているが、実施設計を行ったところ、全体事業費が増額となったため、工法の見直しを行い、これまでの排水ポンプの常設から移動可能な排水方法とすることで、商用電力等の年間維持管理費用が抑えられ、経済的に安価となることから、備品購入費として計上するもの。



経済建設分科会の現地調査

質問 緊急時の移動式ポンプということですが、他地区へ持っていくことも可能だと考えられるが、第一は赤星地区の宝永隧道の排水だということ、きちんと運用ができるのか。

答弁 宝永隧道が最優先である。

**可決 令和3年度一般
会計補正予算(第8号)**

**新型コロナウイルス感染症対策事業
5200万円**

内容 著しく影響を受けた宿泊業、バス事業者やタクシー等の旅客輸送業、公衆浴場業、時短要請協力金を受給していない飲食業、及び観光関連事業者等に対して交付する支援金を計上するもの。

質問 支援金の対象者は、菊池市民ではないが店舗が菊池市にある方は対象となるのか。

答弁 事業所、若しくは店舗等が菊池市にあれば補助対象となる。

**可決 令和2年度一般会計歳入
歳出決算の認定について**

ふるさと納税促進事業

質問 今は14市の中で最下位とのことだが、これまでの推移はどうなっているのか。

答弁 平成28年度は熊本市、上天草市に次いで3位だったが、令和2年度は最下位となっている。

要因は、平成28年度は熊本地震の影響に加

え、寄附を求めるポータルサイトを先行して設けていたこともあり、寄附が多く集まった。また、令和2年度の最下位は、令和3年度から代行業者委託にあたって、本年3月上旬からポータルサイトによる寄附受付を一時中断していたこと等が要因として考えられる。

意見 目標値は3億円とのことだが、目標値の3億円も妥当なのか、目標値は高ければ高いほどそれに対するアクションアイテムも増えてくると思う。

できる限り高い目標値を掲げて、結果と乖離した場合はなぜそうなったのかを分析して次に生かしてほしい。

学校管理費(繰越明許)

質問 学校ICT教育推進事業(中学校)の工事請負費の支出額が5024万円で不用額が4075万円になっているがその理由は。

答弁 高速大容量通信網の整備と電源キャビネットの工事であり、当初、繰越をかけるときは概算で積算し9100万円で計上していたが、発注するときに精査し直したところ事業費が下がったためである。

意見 あまりにも不用額が大きい。もともとこの見積もりの半額程度で出来ており、今後は注意すべき。

エコヴィレッジ旭管理経費

質問 エコヴィレッジ旭は今後、どうするのか。

答弁 民間への売却は可能であるが、区長会では、市での活用を望まれている。

質問 総面積は約2haで、そのうち山林が約1haとのことだが、面積が広いので半分以上売却したほうがいいのではないか。

答弁 工場棟を解体予定であるが、解体後は災害廃棄物の仮置き場として利用したいと考えている。



福祉厚生分科会の現地調査

病児・病後児保育事業

質問 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が回復していないが、今後、委託料の減額になるのか。

答弁 病児・病後児保育事業の利用は、全国的に減少している。運営に係る費用は、国が定めている基準に準じたいが、大幅な減額にならないよう進めていきたい。

税徴収業務

質問 ペイペイ払いや、クレジットカード払いができないか。

答弁 令和2年度の予算で、コンビニ納付とキャッシュレス決済の、システムの構築等を行っている。



本市では、手数料が非常に割高なので、費用対効果の面から口座振替を推進しているが、市民の利便性向上のため、令和4年度からコンビニ払いや、キャッシュレス決済ができるよう進めている。

**畜産競争力強化対策緊急整備事業
産地パワーアップ事業**

質問 農家からの申し込みに対する採択状況は、どうなっているのか。

答弁 畜産クラスター事業は、今のところすべて採択されている。

また、産地パワーアップ事業は、農業再生協議会が地域営農戦略として定める計画に基づき対応しているため、全額、採択されている。

道路新設改良事業

質問 整備の優先順位は。

答弁 まず着手している路線の早期完了を目指し、次に児童生徒をはじめとする歩行者の安心・安全を守るために通学路の整備を重点的に整備する。
新規事業は、道路の状況や交通量を見ながら進めている。

懲罰特別委員会

委員長／泉田栄一朗 副委員長／坂本道博
委員／緒方哲郎 平直樹 東奈津子
水上隆光 ニノ文伸元 木下雄二

本特別委員会は、これまで4回にわたり特別委員会を開催し、慎重に審査しましたので、その結果について報告します。

討論では、懲罰を科すことについて、「議員としてふさわしくない発言であると認識している。しかし、当日に取り消し、翌日に文書で提出、7月2日に全員協議会で謝罪され認められているので、懲罰の対象には当たらないと判断する」との反対討論や、「発言は、議会の中の問題というより、市役所職員、県議会議員に対しての名誉を傷つけており、訂正したから済むとは絶対にならないので、懲罰を科すべきだ」との賛成討論がありました。

採決の結果、山瀬義也議員に対して懲罰を科すことについて、賛成少数により否決すべきものと決定しました。

歳入歳出 決算に関する提言

予算決算常任委員会では、令和2年度歳入歳出決算の審議を通して、次の7事項を提言として取りまとめ、執行部に対して提出しています。

1 コロナ禍によって、さまざまな事業がその事業形態を変更せざるを得なかったが、見直しによるマイナス面のみならず、改善点等を洗い出し、次年度へつなぐための総括をすること。

2 各事業の費用対効果については、数値化、見える化をさらに進めるべきである。加えて適正な目標値設定とその根拠も明確にする。



3 今後、保育士確保が困難になると予想されるが、他の市町村の事例を参考にし、保育士確保のための施策を行うこと。加えて、各事業の見直しを行い、菊池市独自の特徴ある保育・子育て政策を立案・実行していくこと。



4 今後の感染症リスクを見通し、健康福祉部において特定の職員に負荷がかからないように、人員を確保していくこと。



5 福祉分野では、予算を削減しづらい面があるが、適正な財政規模に近づけるため、各部署がよりよい予算を組むように削減や見直しを引き続き行うこと。

6 新型コロナウイルス対策以外の通常事業にかかる必要な経費は、十分に精査したうえで予算を確保し、適正な執行に努めること。
また、特に農商工業においては、今後も残していくために必要不可欠な分野、今後大きく成長が期待される分野については、予算を重点的に配分する等、コロナ後を見据えた次の時代へ向けた事業構築を図ること。



7 商工業については、農業に比べて行政の支援が少ないことから、菊池市商工会を核として、商工業者及び商工会にとって必要な事業について情報を共有し、国への要望活動や市が出来る必要な措置を講ずる等、商工業の振興に向けた取り組みを行うこと。



13人が市政を問う

一般質問

質問者	質問事項	P
①城 典臣	1. 地球温暖化対策として、2050年脱炭素社会への取り組みについて 2. 不登校の児童生徒に対する市の対応について 3. 立門橋の復旧について	9
②平 直樹	1. 菊池の歴史を学び大切にする条例について 2. ふるさと納税について	9
③泉田栄一朗	1. 成人(成年)年齢について	10
④猿渡美智子	1. 地域振興について 2. 小中学校の学校支援員について 3. 通学路について	10
⑤坂本 道博	1. 収入保険制度について 2. 食味コンクールについて	11
⑥田中 教之	1. 子どもの水難事故予防について 2. 部活動の社会体育移行について 3. 災害対策について	11
⑦東 奈津子	1. コロナ禍における市内事業者への支援について 2. 新型コロナウイルス感染症対策について 3. ヤングケアラーについて	12

質問者	質問事項	P
⑧水上 隆光	1. 防災について 2. 民生委員・児童委員と教育委員会について	12
⑨荒木 崇之	1. 菊池市の財政状況について	13
⑩緒方 哲郎	1. まち・ひと・しごと創生について 2. 防災について	13
⑪二ノ文伸元	1. 本市のコロナ対策について 2. 体育施設の管理について	14
⑫福島 英徳	1. 菊池市の財政状況について	14
⑬木下 雄二	1. 道路整備について 2. 防犯灯、街路灯のLED化について 3. 地域おこし協力隊について 4. 市営住宅の指定管理について 5. 九州産廃菊池事業所廃止後の維持管理と地元水迫地区への対応について 6. 国道387号沿いの太陽光発電事業について	15

一般質問では、新型コロナウイルス感染症対策として、概ね30分を目途に議場内の換気を行いました。

議会をインターネットで!

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと会議録画映像を見ることができます。

使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局 / TEL 25-2325

菊池市議会 議会映像 検索



議会傍聴をお待ちしています!

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しく下さい。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場に制限がある場合があります。

12月定例会は
11月26日(金)に
開会しました。



城 典臣 議員

地球温暖化対策として、脱炭素社会 実現への市の取り組みについて



質問 2050年までにCO2排出ゼロを目指し、全世界が動き出しているが、市の目標や考え方は。

また、市が持っている森林の整備を、CO2削減クレジットとして活用できないか

答弁 県内18市町村で構成する熊本連携中枢都市圏で策定した「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」に基づき、目標年度である2050年度における温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、省エネ、畜エネ及び再エネの活用を推進し、脱炭素社会の実現に向けて、取り組んでいきたい。

また、熊本連携中枢都市圏による試算では、本市区域では、市民生活をはじめ、基幹産業である農林畜産業、商工業などの事業活動に伴って排出されるCO2等の温室効果ガスの排出量と、本市区域内に存在する森林の吸収する量の比較では排出量が上回ってしまい、市内の森林のみでは賄うことができない状況である。

不登校の児童生徒に 対する市の対応につ いて

質問 不登校の児童生徒が通える施設はないか。

また、不登校の児童生徒に対する教育委員会の対応は

答弁 不登校状態にある児童生徒の学校復帰を支援するために、適応指導教室を4か所設けている。



豪雨被害のあった立門橋

答弁 立門橋は県指定の重要文化財であり、どうしても修復までに期間を要することから、伊野橋の修復を急ぎたい。

立門(眼鏡)橋の復旧 について

質問 立門橋を利用する住民が困っており、伊野橋も通行できないことから、大きく迂回されているため、即急な復旧が必要である。住民の不安・不便の解消に努めてほしい

また、教育委員会では、関係機関と連携して対応できるよう、学校教育課内に学習支援コーディネーター1名と、スクールソーシャルワーカー1名を配置し、不登校対策の充実を図っている。

平 直樹 議員

菊池の歴史を学び大切 にする条例について



やり取りについては、今後行っていきたい。

質問 提案だが、菊池顕彰会を作る考えは。

また、菊池の歴史を学べる小冊子を作り、子どもたちに配布したり、授業に活用したりしてはどうか

質問 第3条第5号「市民、民間団体等の優れた活動を奨励・顕彰し、歴史文化振興施策の推進に資するよう努めること。」について、いつ、どの団体に連絡や調査をし、どのような奨励・顕彰を行ったのか

答弁 住民の方々が地域の文化財を定期的に清掃されていたり、伝統芸能を継承されている方が小学校の総合的な学習で狂言を教える等の活動は把握しているが、そうした民間団体等の優れた活動の情報収集を幅広く行うことも必要と考えている。

民間団体との具体的な



掲載しているが、さらに充実させていきたい。

また、一人一台端末のタブレットで、デジタルアーカイブを活用した学習に取り組んでいくよう、各学校に指導したい。

ふるさと納税について

質問 目標額と、目標達成のためにも「ふるさと納税課」を作る考えは

答弁 今年度の目標額は、3億円である。

また、専門部署の設置については、当面は今の体制を継続しながら、効果や課題の検証を継続的に行い、専門部署の設置が必要かどうか等、状況に応じ検討していきたい。

成人(成年)年齢について



が身近なものであることが認識してもらうため、一部の小中学校でも出前講座を実施している。

質問 来年4月から、いよいよ成人年齢が18歳に引き下げられる。若者の自己決定権を尊重し、積極的な社会参加を促すことが主な理由である。一番、懸念される消費者被害の増加について、高校生を対象とした消費者教育の本市における現状は

質問 18歳の選挙権は、すでに導入されているが、若者の主権者としての資質の向上が求められている。本市の学校現場における主権者教育の現状は

答弁 主権者教育の主眼は高等学校となるが、各小中学校でも、全ての

答弁 本市では、成年が間近に迫った高校生に対し、ネット通販やSNS利用上の注意点、成年年齢引下げに伴う消費者トラブル等の出前講座を行い、令和元年度に市内3校で233人、令和2年度に2校で288人の生徒が受講した。また、消費者トラブル



本物の投票箱等の投票器材を使った生徒会選挙(令和2年/菊池南中学校)

教育活動において、社会の形成者として必要な資質を身につけるため、社会科学等の各教科、道徳、総合的な学習、特別活動の時間を通して取組を行っている。

質問 来年、4月1日時点で18歳、19歳、20歳の3学年が成人となる。本市では、成人式をどのように考えているか

答弁 令和4年度以降の成人式は、令和4年度に18歳及び19歳になる対象者及びその世帯に対して行ったアンケートでは、86%が20歳での開催を希望され、理由は、18

歳での開催になると、定期的に受験や就職活動に影響するからであった。この意向を踏まえ、市教育委員会では、これまでどおり20歳を対象として開催することにしている。

通学路の安全点検について



え、「特に横断歩道や外側線、文字等のライン、グリーンベルトの設置の要望箇所」として、追加調査を行っている。

結果は、4月の当初要望が92か所、追加要望が17か所、合計109か所である。

なお、その要望箇所は、当初分を7月12日までに、追加分を7月29日までに、各関係機関合同での現場立会いを実施している。

質問 今年6月に千葉県八街市で、飲酒運転のトラックが下校中の小学生の列に衝突し、5人の児童が死傷するという、痛ましい事故が起きた。この事故を受けて通学路の安全点検が行われているが、その結果は

質問 今後の対策の実施について、どんな計画を持っているのか

答弁 事故を受け、本市で取り組んでいる「菊池市通学路防犯・交通安全プログラム」に基づき、4月の安全点検に加え、早急な対応が必要と判断し、事故翌日に追加調査を行った。

内容は、4月に行った通学路における危険対策必要箇所調査に加

今年度は「グリーンベルト等で歩道等を確保すべきもの」27か所を最優先とし、次に「既設標示等が劣化しているため、復旧・修繕が必要なもの」29か所を優先に、その他53か所についても継続して取り組むと決定した。

今後は、各関係機関において、現予算の範囲での対応や、補正予算等での対応が考えられるため、9月末までにどのような対応を行うか報告をお願いしている。

その後、年度末をめぐりに、各関係機関が取り組んだ対策の結果を確認し、実施状況を報告書として各学校へフイードバックし、ホームページでの公表も行っていくたい。



関係機関合同点検(7月)

坂本 道博 議員

収入保険、コロナ禍で注目



質問 コロナ禍で農家の収入減少を補填する収入保険制度の利用は、今年、対前年比で1.5倍と増加している。

県はコロナ禍の特例として、収入保険加入者への支援制度を新設したが、菊池市として掛け金を助成する考えはないか

答弁 本市では、現時点で、農業経営収入保険の掛金に対する補助を行う予定は無いが、県が収入保険加入緊急支援事業として、新たに農業経営収入保険に加入した場合、掛け捨て部分の保険料の1/3、上限6万円を支援されるので、ご活用

いただきたいと考えている。

米食味コンクールについて

質問 第9回菊池米食味コンクール、第5回九州のお米食味コンクールが、今年11月20・21日に開催される。このコンクールは、コロナ危機をチャンスに変えるものだと思うが、コロナ禍において、どのように開催されるのか

答弁 第9回を迎える菊池米食味コンクールは、新型コロナウイルス感染症の感染防止を徹底するために、会場を菊池市民広場の大屋根広場とし、審査員を減らし、無観客で開催する。

また、第5回を迎える九州のお米食味コンクールは、菊池米食味コンクールの翌日に、会場を菊池市民広場の大屋根広場とし、審査員を減ら

し、無観客で開催する。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、菊池米・九州のお米の両食味コンクールともに、食味分析計による食味スコアの審査のみとなることも考えている。



菊池米食味コンクール(令和2年度)

質問 今後のコンクールの運営をどう考えているのか

答弁 昨年8月に本市と福岡県宮若市で設立した「九州のお米食味コンクール運営協議会」において、九州各県での加入推進を行っている。現在、熊本県内と鹿児島県内で各1つの自治体が協議会加入に向けて前向きに検討されている。

田中 教之 議員

ライフジャケットの貸し出しについて



質問 水難事故防止のため、保護者や保育園・幼稚園、子ども会等の団体へ、ライフジャケットを市が貸し出すことはできないか

答弁 小中学校や保育所等において、水難事故予防に関する啓発をしっかりと行っていることから、市としてレンタルをする考えは無いが、他自治体や近隣自治体の状況は、調査していきたい。

質問 川遊びの際に、ライフジャケットを子どもに着用させるよう、保護者へ啓発発動を行う考えはあるか



答弁 水泳の安全教育は、国からの「水泳等の事故防止について」という通知文で、夏の時期に各学校で適宜指導を行っている。また、園児や児童生徒のみでの川遊びは禁止しているが、夏休み前には保護者同伴での川遊び等の注意事項として、今後、ライフジャケット着用等も含めた啓発に、園、学校で取り組んでいきたい。

部活動の社会体育移行について

質問 小学校の部活動が社会体育へ移行し、クラブ間の情報共有不足や、指導者のなり手不足などの課題がある。

それらの課題を解決するために、ある程度組織化する必要があると考える。そのような考えはあるか

答弁 まずは、各クラブとの情報共有の場づくり、指導者の質の向上に向けた研修会等、総合型地域スポーツクラブや既存のクラブとの連携を強化し、課題解決に努め、各クラブを支援していきたい。



コロナ禍における市内事業者への支援について



め、新たな本市独自の支援策について早期に実施できるよう、準備を進めている。

ヤングケアラーについて

質問 今、飲食店はもちろん、それ以外の事業者さんにも目を向けて支援を行っていくべき時。とりわけ、待たれているのが直接支援。本市独自の直接支援を再度、行っていくべきと思うがどうか

質問 病気の親や幼い兄弟の世話など、本来、大人が担うと想定されている家族の世話をしている18歳未満の子ども、いわゆる、ヤングケアラーについて、国が初めて調査を行い、実態の一部が明らかとなった。本市としても、実態を把握するために、調査を行うべきと考えるがどうか

答弁 都道府県と市町村が、きめ細かく事業者の支援を実施できるように、国から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業者支援分を新たに配分する方針が示された。早速、この方針を受けて、コロナ禍において厳しい状況下にある事業者を支援するた

答弁 実態調査を行うことは、実態の把握をするための有効な方法の1つと考えている。本市では、学校等の関係機関との連携による

困り感のある家庭の情報共有や、全ての小中学校で定期的に実施している心の問診票という心理調査により、家庭内におけるストレスの状況把握に努めており、ヤングケアラーの実態把握につながっていると認識している。

なお、令和3年9月に、熊本県において県内全ての高校2年生と中学2年生を対象としたヤングケアラーに関する調査が実施されるため、まずは調査結果を参考にしたいと考えている。



防災について



ただくよう、事前に電話連絡を行う等の対応を行っている。

また、消防団には、危険箇所の見回りや移動広報による市民への注意喚起を行っていたらいい。

質問 気候変動による大雨による土砂災害が多発する現代、急傾斜地の未整備箇所や条件が合わない箇所には、区長や消防団の声掛けが必要と思うが、どのような行動指しをしているのか

答弁 防災情報や行政情報は、急傾斜地崩壊対策事業の未整備地区に限らず、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の対象世帯には、個別受信機を配付し、周知を行っている。

また、災害発生時の危険度が高くなること、あらかじめ予想される地域には、該当区の区長の皆さまへ、区民への避難の呼びかけなど警戒をしてい

質問 8月の大雨で、避難情報等がレベル4からレベル5に上がったが、その発令基準は

答弁 8月12日、12時10分、本市に対し土砂災害警戒情報が発表されたことから、同時に市内全域の土砂災害警戒区域にレベル4の避難指示を発令した。

その後、気象台から、本市の龍門・水迫地区に線状降水帯がかかり、危険な状態にあるとの助言があったことから、総合的に判断し、午後2時45分、対象地域にレベル4の避難指示をレベル5の緊急安全確保に引き上げて発令した。

民生委員児童委員と教育委員会について

質問 コロナ禍の中、児童に広がる不安や、ストレスに対して揺れる子どもへの心とどう向き合うか、どう寄り添うか、子どものSOSを察知するために、教育委員会と主任児童委員との情報共有等の連携は、どのようになっているか

答弁 主任児童委員の皆さまとは、学校運営協議会や学校訪問等に参加していただく中で、情報共有や意見交換等を行っているが連携を図っている。

今後子ども様子の変化や家庭をめぐる状況を把握するため、引き続き連携を図っていくとともに、児童生徒が抱える課題に対応していきたいと考えていること、さらには連携を深めていきたいと考えている。



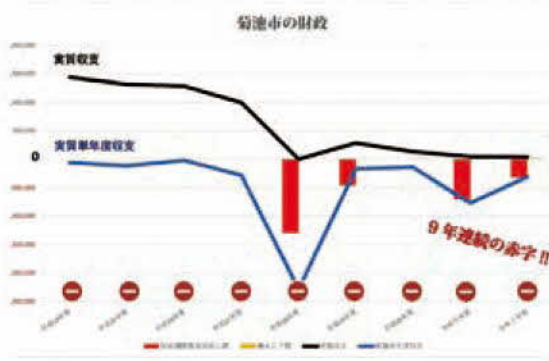
厳しさを増す菊池市財政

実質単年度収支が9年連続赤字



質問 赤字が続くと財政状況が危ういとされる「実質単年度収支」が9年連続赤字である。これは、県内14市で菊池市と水俣市だけが、市長の見解を問う

答弁 赤字の要因は、合併時の合意事項である新市建設計画事業の実施に加え、熊本地震からの復旧復興事業といった突発の支出も大変大きく、合併事業の実施が大幅にずれ込み、この数年に集中したことも、赤字が集中した一因にもなっている。本市の場合、先を見越して計画的にお金を貯めてきたが、貯めたお金を使うときには、統計に上



※実質単年度収支とは…純粋にその年度の所得(収入)と出費(支出)の差額で、「自治体の真の実力」を示したものとされている。

げられないといった技術的な問題があり、赤字に見えるものである。

質問 平成24年からの9年間で借金が273億円から346億円と73億円も増え、基金(貯金)は、平成27年に100億円あったのが、令和2年度には70億円に減少した。何を根拠に財政は健全とするのか

答弁 合併に伴う事業が完了に近づいており、公共施設の削減も着実に進めている。

借入残高は平成29年でピークに減少に転じ、合併当時の平成17年に277億円あった借入れが、令和2年度では334億円と増えているが、自前で返す額は128億円から91億円に減らしている。コロナ禍で大変厳しい環境であるが、余裕があるときに基金を積んできた。こうしたことから、直ちに財政を懸念する状況にはないと考えている。

まち・ひと・しごと創生について



質問 まち・ひと・しごと創生において、拠点として活用すべき、旧菊池市の支館が地域移管となっているが、今後の執行部の考えは

答弁 菊池地域だけに維持管理経費等が公費で賄われている公共施設があり、全市的な視点では不均衡が生じていると考えられる。また、支館全体では、少子高齢化等に伴う利用者の減少が顕著であり、「地域住民の教育の向上、健康の増進等に寄与する」という、公設公民館としての役割を果たし続けることが困難な状況となっている。このようなことから、公民館施設としての制約を取り払い、地域へ移管させていただくことにより、自由な利用ができ、施設の有効活用にもつながるものと考えている。

答弁 菊池地域だけに維持管理経費等が公費で賄われている公共施設があり、全市的な視点では不均衡が生じていると考えられる。また、支館全体では、少子高齢化等に伴う利用者の減少が顕著であり、「地域住民の教育の向上、健康の増進等に寄与する」という、公設公民館としての役割を果たし続けることが困難な状況となっている。このようなことから、公民館施設としての制約を取り払い、地域へ移管させていただくことにより、自由な利用ができ、施設の有効活用にもつながるものと考えている。

今後は、地域の実情に合わせて、「地域移管」や「廃止」等の選択肢について検討する必要がある。この個別施設計画は、行政の視点で策定した「たたき台」であり、引き続き、利用者や運営に携わっておられる地域住民の皆さまへ説明し、ご意向もしつかりと踏まえながら、支館の管理運営のあるべき方向性について、合意形成を図っていききたい。

質問 火災時の初期消火に必要な消防水利の状況は

答弁 市内に設置の消防水利の現状は、いづれも公設で、消火栓が894か所、防火水槽が847か所となっている。

また、新たな場所への設置は、区長及び当該地域を管轄する消防団の分団長との連名により、設置希望書を提出いただき、市が現地確認や必要性の調査を行い、設置が妥当と認める場合には、次年度に予算要求を行うこととしている。



防火水槽の設置

コロナ禍における課題と対策について



質問 コロナ禍における教育、福祉、経済、防災、予防の各分野でのこれまでの取り組みと成果、今後、予定している取り組みを示せ

答弁 (教育) G I G Aスクール構想に基づく1人1台端末について、令和2年12月までに備品購入し、併せて、授業支援ソフトと学習支援ドリルも運用を始め、各学校で活用している。

今後は、小中学校トイレ手洗い自動水栓化工事、授業用Webカメラ・マイク整備、小中学校世帯インターネット接続環境整備事業等に取り組んでいく。
(経済) 市内事業者等

に対し様々な経済対策に關する支援を行ってきた。

中でも、「感染防止アドバイザー派遣事業」は、菊池食品衛生協会へ委託し、安心して利用できる店舗へのぼり旗等を配布し、視覚的に認識していただくことで、誘客の増加につなげることができた。

「きくち飲食応援チケット」を販売し、飲食店への支援と、市内の消費喚起を図り、約1億5千万円の経済効果をもたらした。



飲食応援チケット販売所(7月)

事業者を支援するための新たな本市独自の支援策を、早期に実施できるような準備を進めている。
※この他、教育、経済、福祉、防災、予防に關する答弁がありました。が、紙面の都合により省略します。

体育施設の管理について

質問 体育施設の雨漏りがひどいと聞かすが、現在の状況と今後の対応は

答弁 泗水体育館では、4か所の雨漏りを確認している。この状況での施設利用は転倒の危険性が高いと判断し、8月16日から22日までの使用を禁止した。現在、業者に依頼し雨漏りの原因となる場所を調査しているが、築年数が古く、老朽化していることから、調査結果が分かり次第、協議を行い、修繕を行う方向で調整したいと考えている。

また、総合体育館では、16か所の雨漏りを確認している。関係部署と連携しながら対策を協議し、修繕を行う方向で調整したいと考えている。

財政が悪化した菊池市の歳入を増やすには



質問 実質単年度収支の9年連続の赤字について、市長は財政運営に關しては計画的でもあり問題はない旨の答弁だったが、私は異常だと考える。そこで、歳入(支出)を減らすことは大事だが、歳入(収入)を増やすことに力を入れていただきたい。

それにはふるさと納税寄付金は、ありがたいシステムであり、大いに活用するべきだと考えるが、ふるさと納税の主要サイトである「さとふる」には登録されていない。菊池市では、いくつかのポータルサイトに登録されているのか。

答弁 現在、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、ANAのふるさと納税の三つであり、今年度、ふるなびを追加する予定としている。

質問 令和2年度の寄付額は熊本県14市中、最下位となっていました。

令和3年度の目標寄付額は3億円とのことだが、今後の取り組み方と目標を示せ

答弁 ふるさと納税は、市の重要な財源の一つであると考えている。

本年度は3億円を目標としており、寄附額を増やすための取り組みとして、今年度から専門業者の豊富なノウハウとリソースを活用するため、業務委託を開始している。

また、返礼品取扱事業者も広く募集し、返礼品数は7月末現在で424品目となり、前年度末より155品目増加した。

今後は、新規寄附者の獲得に加え、一度寄附した方々にもリピーターになっていただけるよう、返礼品が定期的に届く定期便、種類の異なる複数の品物をセットにした返礼品等、寄附者にとって魅力的な返礼品の開発を行っていきたい。

さらに、人の目につく機会を増やすため、返礼品を掲載して寄附を募集するポータルサイトも追加を行っていきたい。

また、企業版ふるさと納税についても、国の要件とされている地域再生計画の認定を取得したので、今後、積極的に受け入れを開始する予定である。



九州産廃菊池事業所廃止後の監視体制と水迫地区への活性化策について



質問 九州産廃菊池事業所廃止後の最終処分場に伴う浸出水処理等の市の監視体制と、これまで長い間、産廃問題で迷惑をかけてきた水迫地区に對しての環境整備基金の運用も含めた活性化策について

答弁 監視体制としては、菊池保健所と合同でおおよそ2週間に一度、抜き打ちの立入検査を実施し、現地確認を行っている。環境整備基金の残高は、令和2年度末で約1億1968万円となっている。今後の使途は、地元水迫地区の住民の皆さまからのご意見やご要望等を聞き、条例に基づいた活用を行っていききたい。

質問 国道387号沿いの太陽光発電事業について

いの太陽光発電事業に對する市議会への反対陳情の全会一致採択後の状況と、特に4月30日に開催された説明会で地域住民の厳しい意見により、開発業者から6基を撤去すると示されたが、その後は進展していない。市の対応は

答弁 本市における環境基本条例に基づく対応として、事態の解決に向け、関係住民及び開発事業者双方からの意見等を伺うことを目的とした市長面談を行った。

現在は、それぞれの面談内容を踏まえ、市が仲介役となり、双方の合意点が見い出せるよう、市主催による協議の場を設けるべく、準備を進めている。

道路整備について

質問 市道整備の状況は

- ・市道北宮1号線の整備について
- ・市道管理(草刈り)等の各区への委託の現状と今後の対策について
- ・市道等にせり出した樹木に對する要望の現状と対策について

答弁 北宮1号線の道路の拡幅は、数名の地権者との交渉が必要なこと、用地の調査に不測の日数が必要なこと等、早期の完了は困難であると考えている。

市道の草刈りは、区長さん等にお願ひしているが、高齢化等により各区での対応が厳しいと聞いている。

市道へ個人の土地からせり出している樹木は、個人の財産であるため、市では剪定することができないので、樹木等の地権者を調査し、剪定依頼するとともに、法令や判決事例を添付し、樹木等が原因で事故等が発生した場合、所有者の賠償責任が問われるおそれがあることを通知している。令和3年度は、7月末現在で21路線65名へ通知し、9名から剪定等を行っていただいている。今後、剪定されていない方には、再度通知等を行っていききたい。



市道にせり出した樹木

令和3年 第4回菊池市議会定例会日程の予定

月 日	区 分	日 程
11月26日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
(11月27日～12月1日 休会)		
12月 2日	本会議 委員会	質疑・委員会付託 予算決算常任委員会
12月 3日	本会議	一般質問
(12月4日～12月5日 休会)		
12月6～8日	本会議	一般質問
12月9・10日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
(12月11日～12月15日 休会)		
12月16日	委員会	予算決算常任委員会
(12月17日～12月20日 休会)		
12月21日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※ この予定は、会期中に変更になる場合があります。

議長交際費を公表します

令和3年8～10月分は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議・イベント等が中止となったため、支出していません。

令和3年度 議会報告会・意見交換会の中止について

菊池市議会では、開かれたわかりやすい議会を目指し、毎年議会報告会・意見交換会を開催していましたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止することになりました。

市民の皆さまのご理解のほど、よろしくお願いいたします。

実りの秋 特集

議会広報特別委員会では、市民の皆さまが笑顔になって、元気になってもらいたいと考え、今回は、菊池市青年団七城支部が七城地域の保育園（今回、砦保育園は別の行事があり不参加）と行った『稲刈り』と、さくら保育園の『イモほり』に参加してきました。美味しいお米や大きなおイモがたくさん収穫できました。子どもたちの元気いっぱいの笑顔をご覧ください。

双羽幼稚園



加茂川保育園



清泉保育園



さくら保育園



編集後記

新型コロナウイルス対策が中心となった令和3年も、もうすぐ終わろうとしています。

昨年度から「まず手に取ってもらう『議会だより』」を目指して、字を大きくし、文字数を減らし、写真やイラストを増やしてきました。

市民の皆さまのアンケートや地元高校との意見交換会でいただいた意見を、少しずつですが反映できたのではないかと考えております。また、広聴やデジタル化など、他の課題についても広報委員会で引き続き取り組んでまいります。今後ともご理解ご協力よろしくお願いします。

田中教之

■ 議会広報特別委員会 ■

委員長 / 東 奈津子
委員 / 福島 英徳

副委員長 / 田中 教之
猿渡美智子 工藤圭一郎 泉田栄一郎